

# キタのまちのニュースレター



## 絵本から広がる未来の風景

大淀コミュニティセンターでは2/22（水）午後1時～午後4時、年恒例の「ふれあい絵本ひろば」を開催します。また、例年通り「人形劇」の上演もお楽しみいただけます！（詳細は右下案内を参照）

新型コロナウイルスが世に出てきてしまったことで、互いに注意が必要ですが、この企画を主催する私たちも「開催できること」に感謝し、スタッフ一同心からご来場をお待ちしています。



「はなし画」審査風景（2022.12.11 大淀コミュニティセンター）

さらに今年は、「落語の物語（噺・はなし）」から着想を得て描く「はなし画※」の展示もあります。これは私たちが上方落語協会と一緒に企画し、毎年開催する「落語と絵本のアニュアルレ／2022年」の応募作品です。

その第2回目の今回は、北区エリアの専門学校や地域の絵本教室の皆様から力を込めた作品が届きました。全応募50名中（それぞれが「3点の連作」で応募した）150点の「はなし画」を展示する予定です。もちろん「絵本広場」と同様、万全のコロナ対策を施し、かつ、展示エリアの区画を厳格に区切り1階ホールに集約展示しています（公開は午後1時から午後4時）。

コロナ禍による日常生活の様々な制約が3年にもおよび、ついに4年目に入ります。つらかったこと、くやしかったこと、あきらめてしまったこと、……様々な情景が浮かんできます。でも、広がる未来の風景を「絵本」から共有してみたい。そんな願いを込めました。小さなイベントですが、ぜひ会場にお運びください。お待ちしております。



審査委員長：上方落語協会・会長 笑福亭仁智さん

### ■ふれあい絵本広場 入場無料

日時：令和5年2月22日（水） 13時～16時

場所：大淀コミュニティセンター・ホール

大阪市北区本庄東3丁目8番2号

TEL 06-6372-0213

内容：会場では様々な絵本を手にしていただけます。

次のプログラムもお楽しみいただけます！

・グループ ケロちゃんによる人形劇

・助産師さんによる「ベビーマッサージ」

（和室⇒事前申し込み優先）

・「落語と絵本のアニュアルレ／2022年」

※噺（落語）から誕生する「はなしの絵」『はなし画』展示

詳細：【大淀コミュニティセンター】の公式ホームページを検索しご確認ください。

主催：（一財）大阪市コミュニティ協会 北区支部協議会

地域で赤ちゃん時代からの  
子育てを盛り上げたい

びよまガーデンズ ふじたまゆみ



2019年に新型コロナウイルス感染症が広がり、緊急事態宣言が発令される前の2020年3月まで、親子の絆づくりのベビーマッサージ教室、赤ちゃんが食べる発達手順を踏んでいく離乳食教室などを北区民センターで運営していました。この教室運営と別に、北区でご出産された赤ちゃんとそのご両親のための助産師派遣事業「新生児訪問」を6年経験しており、地域への関わりを同時に携わっていました。

私は助産師という、“赤ちゃん”という“人”のことを知り、また女性のライフサイクルに寄り添うことも職業としている立場なので、子育て相談等も、ベビーマッサージなどで応答する機会がありました

そういった中で、主観的ではありますが北区の地域の特長として、もともと地元が北区在住という方が1～2割ぐらいで、ママパパのお仕事関連で北区に在住されている方が大半という印象があります。その事情を鑑み、子育てが各ご家庭の中だけでなく、地域でもっとつながっていく必要があると実感していました。

しかしご近所に知り合いが少ないママパパ(以下代表としてママとします)が、地域の同じくらのママと知り合いたくても、目的なく集まるというのは地域になじみがなくシャイなママには腰が重い。そこで親子の触れ合いを同時に学べ、おうちでも活用できるベビーマッサージはならば、一石二鳥であり、ぜひ持ち帰りたいと思っていただけるよい機会なのです。ベビーマッサージは地域の人とつながるとても有効な手段の一つと言えます。

そして私は現在、2018年より「ふれあい絵本ひろば」の中で「助産師さんが教えてくれるベビーマッサージ」で参加させて頂いています。簡単にでき、覚えやすい量の手技を学びながら、一緒に参加されるママたちのお話を聴き、「うちもそれあった」「そんなこともあるのか」「助産師さんの話が聞ける」など、地域のママと繋がれるコミュニティの場としても、ぜひご活用していただきたいです。

## つながりで守られるまち

建築家・ツキイチ屋台女将 岸上 純子

日々の生活をしていく中で、みなさんもなんらかのコミュニティには属されていると思いますが、地域コミュニティには「属して」いますか？

最近、様々なところで地域コミュニティ醸成の活動が行われたりしています。お祭りをやったり、イベントをやったり。楽しいことを共有しながらコミュニティを作っていく。それはとても大事なことだと思います。けれど、そもそもなぜ地域コミュニティが必要なのでしょう。

正直、「地域コミュニティ=ご近所付き合い」は面倒なことも多いかもしれません。近所付き合いしたくないから都会に住んでいるのに。という人も少なくないと思います。

楽しい反面、面倒でもある地域コミュニティ。でも、その必要性が一番求められているのが「防災」に関してです。

先日、神戸の「人と防災未来センター」に見学に行ったときに聞いた話なのですが、阪神淡路大震災の際、淡路島では、家屋の下敷きになった人たちの9割が、地震発生後24時間以内に近所の人たちの手によって助け出されたそうです。それと比較して神戸で救出された人は3割だったとか。その差は何にあるのか。

答えは、淡路には近所の家の間取りまで知っていて、その住人がいつもどの部屋で寝ているかまで知っているほどのコミュニティがあったから……なんだそうです。だから、がむしゃらに掘り起こすのではなく、ピンポイントで寝ている場所を探すことができた。それが決定打となり、短時間にたくさんの人が助け出されたそうです。

これを聞いて、そうかそのために地域コミュニティって必要なんだ!と思ったわけです。もちろん今の都会では、「隣の人がいつもどの部屋で寝ているか」まで知る関係は難しい。けれど、そこにどんな家族が何人住んでいるかを「知ってる」ことくらいできそうです。それだけで、いざという時、助ける・助かる手掛かりになるわけです。

いざという時に助け合えるコミュニティ。そんなコミュニティに、ちょっと「面倒」から一歩踏み出し、ちょっとだけでも参加してみませんか？



筆者の拠点は阪急中津駅に近い「中津商店街」の中の大正2年築の長屋。2017年に購入し2年をかけた住居兼事務所としてリノベーション。専門学校や大学で「建築」を教えています。本文内容はここで生活し活動する「実感」でもあります。



# キタ歩き日本旅



宮崎県  
の巻

「大阪駅前ビル」には、47都道府県のうち約半数にもなる日本全国の「道府県事務所」がオフィスを構えています。少し大きさに表現すると『日本が大阪駅前ビルに勢ぞろい!』の風情です。SNS万能の時代ですが、全国各地の旅や物産の様子が「人肌感覚」で知ることができます。この連載は、旅する感覚で北区の大阪駅前ビルを訪ね教えていただいた情報です。大阪駅前ビルの歴史も魅力的!「わが町の旅」としていかがでしょうか。



バッファローズ・キャンプ風景:間近で見る日本一! 京セラドーム大阪での活躍は宮崎から!!

海から昇る朝日が眩しい宮崎県は、県土の東側が総延長・約180kmもある海岸線。そんな宮崎県のキャッチフレーズは“日本のひなた宮崎県”です。と、教えてくださいましたのは、宮崎県大阪事務所・企画広報担当の宮之原さん。続けてお聞きしました(黒字部分)。

漢字で書くと“ひなた”は「日向」です。“ひなた”の宮崎は、気候も人もモノ・コトもみんな素朴であったかい。あたたかい気候は豊かな食ももたらしました。古事記によれば、神々が降り立ち様々な神話の物語の舞台となりました。

日本を代表する観光地「高千穂峡」をはじめ、宮崎県の各地に素肌感覚で「神話」が息づいています。ですから、宮崎県の観光は神秘的な一面があります。

ただし、敷居の高いものではありません。現に宮崎県の観光パンフレットには「ときめく神もうで」や「恋して、愛して、ぼろり涙もこぼれた、かみさまたちのものがたり」のような、日常と自然環境のいい関係の“ひなた”がイッパイです。

宮崎市の中心を流れる大淀川の河口近くの大淀川に到着(新造船が就航した)宮崎カーフェリーは、朝日を浴びた姿が特に美しく、とてもロマンティックです。そういえば……北区には「大淀」という地名があったようですが?

大阪駅すぐ西側、梅田スカイビルがあるところは北区大淀中です。ちょっと昔は、その付近広域が大淀区でした。もちろん淀川は、昔も今も未来も大阪のシンボルです。

宮崎港は宮崎市中心部の近くであり、宮崎ブーゲンビリア空港も中心部のすぐ近くです。京阪神から宮崎へのアクセスは意外なほど便利です。日本一に輝いたオリンピック・バッファローズのキャンプ地は宮崎市清武総合運動公園でJR日豊本線・清武駅(宮崎駅から3駅目)からも近く、大阪からふらっと「バッファローズ・キャンプ」はオススメです。

もちろん、パ・リーグの他球団、カープやジャイアンツのセ・リーグ球団も宮崎がキャンプ地ですから「ぐるりキャンプ地巡り」も魅力

的!“日本のひなた宮崎県”ならではの旅スタイルです。

“ひなた”は心にもカラダにも優しく。“日本のひなた宮崎県”で、美しい自然、パワースポット、グルメに癒やされて、パワーチャージしなくては……そうだ“ひなた”を旅しよう!



高千穂峡:これぞニッポン観光の名所!



鶴戸神宮 本殿:  
ひゅうがなだ  
振り返れば日向灘…そのご来光にも感動!

写真提供:宮崎県大阪事務所

# 浪花百景歳時記

大阪大学大学院人文学研究科  
芸術学専攻 博士後期課程一年

飯田花織

## 見事な桜に「満」悦

「覚満寺之夕景」歌川国員画

桜の宮をはじめ大川や堀川界隈は桜の名所が連なり、落語でも芸妓、幫間を連れた船場の旦那が鶴満寺に花見に押しかけます。

道行ナビゲーター 大阪大学教授 橋爪節也



鶴満寺で知られるお寺ですが浪花百景は「覚満寺」と記しています。北区長柄東一丁目にある天台真盛宗の寺院で、宝暦三年（一七五三）、大阪の豪商上田宗右衛門広久が堂宇を完成させました。左上の色紙形は、山号の「雲松山」のごとく雲の意匠で表され、タイトルの通り真つ赤な夕焼けのなかに白くたなびき一際目立ちます。

枝垂桜の名所として知られる境内の桜は淡い紅色で彩色され、春の日の美しい夕暮れに、今を盛りと咲きおっています。

ですが、本図で真つ先に目を引くのは、寺の名物

である枝垂桜よりも放射状に青々と伸びる五本の竹ではないでしょうか。手前に大きくしなつた竹を配し、画面奥に控えめに桜を描く構図には、芳雪の抒情的な美意識が見て取れます。竹の濃い緑と薄緑のはっきりとした色面分割は、なかなかモダンです。

空は上部の黒色から灰色、水色、白とグラデーションで彩られています。「夕景」と聞くと橙色に染まる空を連想しますが、芳雪はあえて寒色のグラデーションを用いることで桜色を引き立てたかったのかもしれない。夜の帳が下りてくる寸前、まだ薄明るいひとときの夕景です。紫の着物を纏い左上を見上げる男は旅する僧侶でしょうか。この時ばかりは寺の桜に心惹かれていたのでしょう。本図には籠を持った水色の着物の娘と寺門に立つ簡略化された人物も描かれ、彼らも桜を目当てに來た参詣客かもしれません。

かつて桜の木の下には観音百体が祀られていましたが、明治十八年（一八八五）に起きた淀川洪水により流され、現在は見る事が叶いません。しかしながら、本寺には今も慈覚大師作との伝承がある阿弥陀如来像が安置され、大阪府指定有形文化財となっています。

竹と竹との間に見える鐘は太平一〇年（一〇三〇）に朝鮮で鑄造されたもので、現在は国の重要文化財に指定されています。夕暮れの空に響く鐘の音を、江戸時代の人々ほどのように聴いたでしょうか。

天神橋筋六丁目駅から東へ歩いてすぐ。洪水により失われたものも多い鶴満寺ですが、現地を訪れて浪花百景に描かれた在りし日の情景を想像してみれば、どこからか桜の香りが漂ってくるかもしれません。

■編集・発行：北区民センター・大淀コミュニティセンター・都市コミュニティ研究室

■指定管理者：一般財団法人大阪市コミュニティ協会

■発行月：7月・10月・1月・4月の各月下旬発行

北区民センター 〒530-8401 大阪市北区扇町2-1-27  
☒ kitakumin-center@abelia.ocn.ne.jp

大淀コミュニティセンター 〒531-0074 大阪市北区本庄東3-8-2  
☒ oyodo-comini@abelia.ocn.ne.jp

編集後記

年が明け、大阪・関西万博まで3年となりました。3年前のちょうど「今ごろ」から新型コロナウイルスは広まりました。ですから「3年」という時間推移に、何かしらのリアリティを感じています。千里で開催された70年万博では「コミュニティ・イベントが花を添える一助になった」とお聞きすることがあります。小さなものですが「絵本の世界」には、そんな可能性もあるように感じます。1ページで紹介した「落語と絵本のアニヴァーサリー」では、そんな絵本の夢も追いかけています。